

2019年度

こども学科 講義計画集

— 第2学年 —

氏名

.....
船橋情報ビジネス専門学校

〒273-0005 船橋市本町7-12-16

電話:047-425-1051
.....

2019年度 (平成31年度) 年間計画表

2019.2.18現在

後 期

Calendar grid showing monthly events from April to March. Includes columns for month and day, and rows for specific dates with event names like '入学式', '運動会', '卒業式', and '学校見学会'.

Summary and notes table. Contains sections for '※年間講義回数' (Annual Lecture Count) with a table for months (30, 31, 32, 32), '※月曜日の振替が...' (Notes on Monday transfers), and '※台風など臨時休校が...' (Notes on temporary closures).

こども学科2学年

本校の教育方針		1
評価について／出欠席ルール		3
FJBネットID登録とメールアドレス		4
実習室・インターネット使用上のルール・マナー		4
個人情報保護に関する基本方針		5
平成30年度教育目標と検定スケジュール		6
教育実習事前事後指導／教育・保育演習応用Ⅰ	南部 愛子	7
保育・教職実践演習／教育・保育演習応用Ⅱ	南部 愛子	8
環境(指導法)／教育・保育演習応用Ⅰ	津田 聡子	9
音楽表現(指導法)／教育・保育演習応用Ⅰ	中川 菜穂	10
図画工作／教育・保育演習応用Ⅱ	小倉 正巳	11
音楽演習Ⅰ・Ⅱ／教育・保育演習応用Ⅰ・Ⅱ	中川 菜穂	12
幼児体育／教育・保育演習応用Ⅰ	向家 真広	14
劇あそび(指導法)／教育・保育演習応用Ⅱ	中川 菜穂	15
保育実習事前事後指導／教育・保育演習応用Ⅰ・Ⅱ	津田 聡子	16
保育原理	杉山 剛	17
発達心理学	杉山 剛	18
乳児保育	杉山 剛	19
障害児保育	杉山 剛	20
家庭支援論	杉山 剛	21
教育相談	杉山 剛	22
乳幼児心理学	杉山 剛	23
児童家庭福祉	水鳥川洋子	24
子どもの食と栄養	杉山 剛	25
子どもの保健	渡邊 寿代	26
公務員試験対策演習応用Ⅰ・Ⅱ	生越 雅志	27
Office演習Ⅰ・Ⅱ	生越 雅志	29
検定対策	生越 雅志	31
就職講座A	江川 加津雄	32
やってみなはれ演習応用Ⅰ・Ⅱ	生越 雅志	33

本校の教育方針

船橋情報ビジネス専門学校
校長 鳥居高之

教育理念「若者をハッピーに」

これが本校の教育理念です。しかし幸せの形は人によって違いますし、卒業式で「はいどうぞ」と手渡しできるものではありません。在学中だけハッピーならよい訳でもありません。その後こそ重要です。従って私たち教職員の使命とは、学生のみなさんが職業人・社会人として豊かな人生を送るために、その土台作りのお手伝いをするという事になります。あくまでも主役は学生本人です。また社会に出てハッピーになる最低条件としては、大人として自立していなければなりません。その自立に欠かせないのが自律です。自律とは自分と闘うということです。ただ欲望や本能のままに行動するなら動物と同じです。すなわち、「自律 → 自立 → ハッピー」という順番です。私達もみなさんのお手伝いに全力を尽くしますが、自立した大人になる独力を忘れないでください。

勉強は教わるものではない

初年度のみ先生方は手取り足取り親切に教えてくれます。高校までに自分なりの勉強方法が身に付いていない人もいます。しかし2年目からは最後まで教えません。「まずは自分で考えてみなさい」と指導します。なぜでしょうか。将来みなさんが就職する会社に、そんな面倒見のよい上司や先輩がいるのでしょうか。みな仕事を抱えています。社会に出れば自分で勉強するのが当たり前です。質問・相談もできますが、自分で調べて考えるのが大原則です。その姿勢を在学中に身に付けてください。2年生になって先生の態度が変わるのはそのためです。急に厳しくなったと勘違いする学生がいますが、みなさんの真の成長を望んでいるのだということに気付いて欲しいです。

またスピード制限もしていません。もし授業の内容を既に理解していると感じる人は申し出てください。指導教員がそう判断すれば別メニューを設定します。クラス全体に歩調を合わせる必要はありません。どんどん前に進んでください！

人間教育の重視

人と接するのが苦手だからコンピュータの仕事に就きたいという学生がいます。大きな勘違いです。コンピュータの向こうには生身の人間がいます。どんなビジネスでも主役は人です。技術や資格ではなく人が仕事をするのです。そして人は一人では生きて行けない生き物です。仕事にせよ日常生活にせよ、常に他者との係わりの中で生きています。本校は単なる就職予備校ではないのです。人間教育を技術教育以上に重視しています。特に次の2つを心がけて欲しいです。

元気に明るく挨拶（あいさつ）

明るい人はみんなに好かれます。明るさの第一歩は、自分から元気に挨拶することです。そのような新入社員は職場でも愛されます。学校の先生方や来校されるお客様に練習台になっていただき、どんどん自分から挨拶しましょう。

3つの守り

本校がとても大切にしている3つの守りとは、「時間を守る、約束を守る、ルールを守る」です。単純ですが、当たり前のことを当たり前にやるのは実は大変なことです。自律できない人は自分と闘えません。つまり自立もできません。

「ルールを守る」に関しては考えて欲しいことがあります。学校生活だけでなく今後の生き方にも係わることです。ルールや法律を守るのは、叱られない罰せられないためでしょうか。世の中を見渡すと、法に触れなければいい、見つからなければいい、と考える者もいます。真の大人になり損ねた、自己中心のニセ大人です。みなさんには、「そんなことをしたら人として、大人として恥ずかしい」と自分を律して行動できる、良識ある職業人・社会人になって欲しいと願っています。以下校内のルールやマナーについて、少し補足しておきます。

通学

- (1) バイク・自動車通学全面禁止。
- (2) 自転車は学生課に登録し所定の駐輪場所を利用。

エレベーター

- (1) 学生はドアの注意書きに従うこと。下りは全面禁止。
- (2) 授業開始前および終了後の5分間は使用禁止。(教員優先)
- (3) 3号館は全面使用禁止。

禁煙

教職員、学生、成年、未成年者にかかわらず校内及び天沼公園・学校周辺は全面禁煙。

※船橋駅前から本校までの路上喫煙は条例により禁止され罰金の対象です

交通ルール

3号館前的大通りは横断絶対禁止。過去に死亡事故あり。横断歩道を使うこと。

重大なルール違反やマナー違反をした場合は、校長面接の上、停学や退学処分になることもありますので、学生の本分を守り勉学や学校生活に励んでください。なお本校では、学生が直接メールを校長宛に出すことができます。何か要望や相談があれば、いつでもメールしてください。 takatorii@chiba-fjb.ac.jp

以上

評価について

- (1) 評価とは成績証明書にA～Dで表現され記載される、その科目の最終的な成績のことを指す。
- (2) 評価は、合計点を用いて算出する。合計点とは、定期試験の素点に授業態度や出席状況、課題提出等の平常点を合計して算出したものである。

評価は以下の基準を用いる。(点または%)

A	80以上	C	40～49
B	50～79	D	39以下

- (3) 評価Dの者は、単位未修得者として処理される。
- (4) 評価Dの者には所定の手続きの後、再試験を実施する。ただし、再試験は特別の場合を除き、レポートに代替する。再試験に合格した場合その科目の評価はCとする。(特別な努力が認められたものは、B評価になることもある。)

実習(教育実習・保育所実習・施設実習)について

こども学科は幼稚園教諭二種免許と保育士免許の資格を同時に取得し、保育者として社会で活躍する専門職を養成する学科です。この専門職に就くためには他の教育・保育現場での実習が非常に重要になります。幼稚園実習2回・保育実習3回とも免許・資格の必修単位となります。(どちらか一方の取得は認められません)

学外実習は外部評価が基準になりますので、実習に行くまでの本人の学習内容が基準に満たない場合(基準単位未修得、人物評価等)は実習を実施できない事になります。

近畿大学九州短大スクーリングについて

1年次後期に近大スクーリングがあります。幼稚園教諭二種免許取得の必須単位となります。免許取得の意志がない場合、不参加となります。また、明らかな過失が認められる場合、旅費の負担が生じることがあります。

(詳細は別紙 → スクーリング詳細が決定次第、授業内でガイダンス)

出欠席ルール

- (1) 遅刻3回で欠課1回、欠課6回(1年生はSHR分の遅刻1回を含む)で1日の欠席とみなし、次の条件で換算する
 - ・SHRの遅刻及び欠席で「遅刻1」※SHRは1年生のみ
 - ・授業開始15分までの入室で「遅刻1」
 - ・授業開始15～45分までの入室で「欠課1」
 - ・授業開始45～60分までの入室で「欠課1+遅刻1」

※90分授業の前半45分の欠課1、後半15分までの遅刻1という考え方でカウントする

 - ・授業開始60分以降の入室で「欠課2」
- (2) 年間55日の欠席で進級停止、退学勧告。
- (3) 交通機関の乱れによる遅刻の場合は「遅延証明をもらう」。ただしバスは適用外。

レベル	欠席日数	学校側からのアクション	備考
1	無断欠席	担任が自宅へ電話する	
2	累積10日欠席	自宅へ警告書を郵送する	警告書の郵送は累積10日になった時点で行う。
3	累積25日欠席	校長面接を行う	警告書の郵送は累積25日になった時点で行う。
4	累積40日欠席	校長面接において「退学警告」を行う	保護者同伴で行う。
5	累積50日欠席	校長面接において「最終警告」を行う	同上
6	累積55日欠席	①自宅へ退学勧告通知書を郵送する ②掲示板に名前を張り出す	退学を勧告する。

※「退学勧告」とは・・・1ヶ月以内に退学届けを提出すれば「自主退学」扱いとなります。以後は「強制退学処分」とします。

FJBネットID登録とメールアドレス

1. ユーザID登録について

本校では、学生1人ひとりにユーザIDを発行しております。このIDでログインすると、学校内のネットワーク環境が利用できます。課題の保存、教材の受け渡し、メールでのコミュニケーションなどに活用して下さい。

2. メールアドレスについて

(1) 科によってメールアドレスが設定されています。

詳細は担任から説明があります。

(2) 「FJBインターネット&イントラネット」画面の「電子メール」「先生へのメール」をクリックして電子メールを活用して下さい。

(3) Webメールでの各個人に与えられている容量は50MBまでです。整理せずに企業からの大切なメールを受理できないケースがありました。不必要なメールはこまめに消去してください。

3. 緊急連絡網について

クラスの諸連絡、台風や大雪の休校連絡等で使用します。各自、常に最新の連絡先を更新するようにしてください。登録されたアドレスに連絡がつかない場合、自己責任となります。また、メール連絡の環境に無い場合は担任へ申し出てください。

実習室・インターネット使用上のルール・マナー

1. 実習室の放課後開放について

放課後、午後6時まで実習室を開放します。開放時間中に清掃（清掃時間を入り口に掲示）が入ります。その際は一度退出をお願いします。気持ちよく使えるよう、ご協力ください。

2. 実習室に、飲食物は持ち込んではいけません

パソコンは精密な電子機械です。水、粘着質の糖分、細かなゴミ、小さな金属物などを嫌います。実習室では、飲食行為も持ち込みも、厳禁です。

3. 本校のパソコンに、ゲーム（その他ソフト）をインストールしてはいけません

雑誌の付録のCD-ROMを持ち込んだり、インターネットでダウンロードしたりして、ゲームなどのソフトを本校のパソコンにインストールしてはいけません。

4. USBなどの記憶媒体は必ずウイルスチェックをするようにして下さい

記憶媒体を本校で使用する場合は、監督の先生に申し出てウイルスチェックをしてもらって下さい。その後、許可します。

5. 実習ファイルを保存するための領域をIドライブに用意してあります

必要なファイルのみ保存し、常に整理を心がけてください。ゲームファイル、過度な容量のファイルの保存を禁止します。（卒業研究等、必要な場合を除く）

6. インターネットを利用して、画像、音楽などを不正使用してはいけません

画像・音楽データなどはすべて、著作権があります。さらに、人物の写真には肖像権、アイドルの写真にはパブリシティ権があります。個人的な利用の範囲を超えて、使用してはいけません。HPやブログに貼り付けることはこれらの権利の侵害で、犯罪行為です。

7. インターネットに、非常識な書き込みをしてはいけません

インターネットの世界は、限られた若者のギャグやチャレの場ではありません。善意ある人達の、世界的に開かれた場です。匿名性を利用した破廉恥な書き込みは、卑怯者の行為です。一見匿名ですが、アクセス記録は残りますから、必ず追跡されます。

以上の約束が守れない場合は、指導の対象となります。

また、悪質な場合は、停学・退学を含めた処置を検討します。

学校法人三橋学園 船橋情報ビジネス専門学校
個人情報保護に関する基本方針（プライバシーポリシー）

船橋情報ビジネス専門学校

船橋情報ビジネス専門学校は、教育機関としての社会的責任を果たすために、以下の個人情報保護方針(プライバシーポリシー)を定め、教職員およびその他の関係者に周知徹底し、これを実行します。

1. 個人情報の取り扱いについては、教育上または業務上必要な範囲内において利用目的をできるだけ特定した上で、権限を与えられた者のみに許可します。
2. 個人情報に対する不正アクセス、紛失、破壊、改ざんおよび漏えい等を防止するために、適切な安全対策を講じます。
3. 取得した個人情報は、以下の目的に利用します。
 - (1) 本校の授業、検定試験、行事等の通知・連絡・管理を行うため
 - (2) 就職指導および就職活動支援を行うため
 - (3) 入学相談および募集活動を行うため
 - (4) 入学選考試験業務を行うため
 - (5) 各種証明書等の発行業務を行うため
 - (6) 上記のほか、教育上必要と判断される業務や活動を行うため
4. 本校は以下のような場合において、必要とされる範囲内で個人情報を関係者または第三者に提供もしくは公開することがあります。
 - (1) 在学生の保護者に対し、本人の学業成績、出欠席状況、資格取得状況等の提供
 - (2) 在学生もしくは卒業生の出身校に対し、本人の出欠席状況、資格取得状況、就職状況等の提供
 - (3) 学内での定期試験合格者、資格取得者、就職内定者情報等の公開
 - (4) 就職指導室における、在学生もしくは卒業生の就職先、就職活動記録等の公開
 - (5) 本校への入学希望者に対する、在学生もしくは卒業生の就職または就職内定先情報および、学校案内や本校ホームページに記載されている情報等の提供
 - (6) 上記のほか、本校の教育上もしくは業務上必要と判断される場合
5. 上記以外の利用目的で個人情報を収集する場合は、別途本人および保護者に通知します。
6. 以上のように、本校による関係者および第三者への個人情報の提供は、教育上もしくは業務上必要であると判断した上で行っておりますが、希望しない場合は所定の手続による請求をすることで停止できます。

個人情報の開示、訂正、利用停止の請求および取り扱いに対する問い合わせは下記までお願いします。

校長 鳥居 高之
047-425-1051
takatorii@chiba-fjb.ac.jp

2019年度 教育目標と検定スケジュール

教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人として、社会人としてのモラルを身につけ女性としての感性を育てる。 ・文化や専門的な知識技術を修得する中で、自ら主体的に課題を見つけ学ぶ姿勢を育てる。 ・仲間と考え学ぶ課程から、他者と共に学びあいと育ちあいの心を育てる。
目標資格	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭二種 ・保育士 ・社会福祉主事（任用） ・秘書検定2級 ・MOS Word Excel ・医療事務関係の資格（未定）
1年次進級条件 <small>（修得単位、出席日数等以外）</small>	・音彩の会において指定された課題曲のクリア
2年次進級条件 <small>（修得単位、出席日数等以外）</small>	・音彩の会において指定された課題曲のクリア
卒業条件 <small>（修得単位、出席日数等以外）</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭二種 ・保育士

こども学科

<方針>

- ①園児、保護者、同僚に愛され、信頼され、尊敬される保育者の養成
- ②経験に基づいた実践的、体験的な保育活動を取り入れる
- ③保育現場に赴き、先輩保育者の手法を学ぶ（ジョブシャドウイング）
- ④保育現場で必要とされるパソコンスキルの習得
- ⑤“まるい人間がまるい人間を育てる”笑顔の溢れる教壇

1年次：保育基礎知識の学習、及び実践的な演習を行う。ジョブシャドウイングは2コマ。前期午後はビジネスライセンス科学生と合同で、秘書検定2級の取得を目指す。2年次からの諸実習において、いち社人として振る舞えるよう鍛える。公務員試験対策は漢字と一般常識に絞って指導する。

2年次：保育応用知識の学習、及び実践的な演習を行う。ジョブシャドウイングは4コマ。Office演習として、前期はExcel、後期はWordのMOSを取得させる。義務付けられている諸実習において、基礎的な指導計画を立てられる能力を養う。公務員試験対策は計算問題と判断推理等、パターン学習の方式をとる。

3年次：幼児の保健と医療の基礎知識を学ぶ。後期では医療事務関係の資格の取得を目指す。実践的な演習は教授だけではなく、学生自らが教案を立て、検証させる。ジョブシャドウイングは5コマ。プレゼンテーションや基礎的なWeb作成技術を学び、現場で応用できる能力を養う。公務員試験対策は過去問題演習と面接、作文指導を行う。

必要な単位の未修得、資質を身に付けていない場合、実習を許可しない。実習後の評価が免許基準を満たさない場合、再実習となる。

1 学年

2 学年

3 学年

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月		
1 幼稚園教諭二種 社会福祉主事（任用）																											
2 保育士																											
3 秘書検定2級																											
4 MOS Word Excel																											
5 医療事務関係の資格（未定）																											☆

こども学科	2年
-------	----

【前期】

科目	教育実習事前事後指導／教育・保育演習応用Ⅰ	分類	専門科目
担当	南部 愛子		
テキスト (出版社)	幼稚園教育要領		
参考資料	実習ノート		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
幼稚園教育実習へ向けての心構えと実践を学ぶ
2. 授業の目標(検定取得など)
幼稚園教諭二種免許状取得
3. 注意点・要望
学生が主体的に取り組むようにする
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	実習の目的と意義	実習の概要 自己評価にて自身を知ると共に実習生としての意志と責任を持つ
2	事前学習	子どもの人権 プライバシーについて 書類の種類を学ぶ
3	実習の流れ	幼稚園実習において決定から実習終了までを知る
4	マナーの研修	服装、挨拶、言葉づかい、実習生の生活など自身を取り巻く様々な心得を学ぶ
5	教育実習内容	幼稚園とは何かを学ぶ(日課、職種等)
6	実習日誌について	目標、環境設定、記録、考察等の書き方を細かく具体的に学ぶ
7	オリエンテーションについて	オリエンテーションについて知る 見学、観察、部分、責任実習を知る
8	実習日誌を書く	子ども、教諭の様子を見ながら実習ノートを書くポイントの演習
9	立案演習①	個々で様々な年齢の教育内容立案をする
10	立案演習②	個々で様々な年齢の教育内容立案をする
11	学外実習演習①	姉妹園にて保育演習後日誌を書く 実習、日誌指導をしていただく
12	学外実習演習②	姉妹園にて保育演習後日誌を書く 実習、日誌指導をしていただく
13	実習先について	自分の実習先の幼稚園を熟知する
14	実習先について	子どもの理解、協働とはどういうことか
15	お礼状の書き方	実習先へお礼状を書く 書式を学ぶ 個々で実際に書いてみて学ぶ

備考	公立保育園園長、本校姉妹園の園長として勤務経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	---

こども学科	2年
-------	----

【後期】

科目	保育・教職実践演習／教育・保育演習応用Ⅱ	分類	専門科目
担当	南部 愛子		
テキスト (出版社)			
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

保育士として必要な保育に関する専門的知識及び技術、幅広く深い教養及び総合的な判断力、専門職としての倫理観等が習得、形成されたか、自らの学びを振り返り把握する

2. 授業の目標(検定取得など)

上記に基づき、保育の課題について現状分析し、保育士・保育現場・地域社会それぞれに求められる対応を考察する力を習得する。自己の課題を明確化し、保育実践に必要な基礎的な資質・能力の定着を図る

3. 注意点・要望

保育実習等を通じた自らの体験や収集した情報に基づき授業を進めます。実習ノート等を熟読し、参加してください。

4. 関連科目

幼稚園教諭・保育士科目全般

週	テーマ	内容
1	学びの振り返り	保育士の意義や役割、職務内容、
2	学びの振り返り	子どもに対する責任、倫理
3	学びの振り返り	社会性、対人関係能力
4	学びの振り返り	子どもやその家庭の理解
5	学びの振り返り	子どもやその家庭の理解
6	学びの振り返り	職員間の連携
7	学びの振り返り	関係機関との連
8	学びの振り返り	保育や子育て家庭に対する支援の展開
9	保育に関する現代的課題の分析に基づく探究	保育に関わる今日の社会的状況等の課題について自ら問いを立てる
10	保育に関する現代的課題の分析に基づく探究	グループ討議(要因・背景)
11	保育に関する現代的課題の分析に基づく探究	グループ討議(課題解決の方向性)
12	保育に関する現代的課題の分析に基づく探究	グループ討議(課題解決の具体的内容・方法)
13	保育に関する現代的課題の分析に基づく探究	グループワーク(研究発表準備)
14	保育に関する現代的課題の分析に基づく探究	グループワーク(研究発表)
15	保育に関する現代的課題の分析に基づく探究	グループワーク(研究発表)
16	自己課題の把握	自身の習得した知識・技術等と保育に関する現代的課題等から、自己の課題を把握する
17	自己課題の把握	目指す保育士像や今後に向けて取り組むべきこと及びその具体的な手段や方法等を明確化する

備考	公立保育園園長、本校姉妹園の園長として勤務経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	---

こども学科	2年
-------	----

【前期】

科目	環境(指導法)／教育・保育演習応用 I	分類	専門科目
担当	津田 聡子		
テキスト (出版社)	発達がわかれば子どもがみえる		
参考資料	うたと積み木とおはなしと うたっておどっておもちゃ箱 1・2		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
保育演習内容「幼児と環境」の学習内容をふまえ、保育所保育指針における領域「環境」に示される内容を、各段階的に理解する。
2. 授業の目標(検定取得など)
現在の環境で子どもたちが生きる力を培うための保育の工夫、自然体験・社会体験などの具体的生活体験を重視した保育、特に子どもたちの自然とのかかわりを深める保育を自ら設定して実践的に指導できる力を育む。
3. 注意点・要望
幼児と環境の授業を踏まえ、更に自然環境や社会環境などの具体的生活体験を重視した保育、特に子どもの自然とのかかわりを深める保育を自ら設定して実践的に指導できる力を養ってほしい
4. 関連科目
五領域(指導法含む)科目全般

週	テーマ	内容
1	室内 室外の環境	室内外の環境と人への関連からの影響を学び、理想的な環境を考察する
2	人的環境 物的環境	人的、物的環境と人への関連からの影響を学、理想的な環境を考察する
3	発達にそくした環境(物的)	目的別玩具、道具・年齢別に分類する
4	発達にそくした環境(人的)	実際の保育現場にて観察実習を行いながら学習する
5	発達にそくした環境(人的)	実際の保育現場にて観察実習を行いながら学習する
6	安全な環境	1階の保育園 保育中の避難訓練参加
7	主体的な環境とは	主体的であるという事 具体的に学ぶ
8	主体的に遊ぶ環境	子どもの遊びから考える
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

備考	公立保育士として勤務経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	------------------------------------

こども学科	2年
-------	----

【前期】

科目	音楽表現(指導法)／教育・保育演習応用 I	分類	専門科目
担当	中川 菜穂		
テキスト (出版社)			
参考資料	てぶくろ人形の部屋		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	0%	20%	50%	0%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要
表現とは何かを学び、幼稚園実習に向けて自分の引き出しを増やす
2. 授業の目標(検定取得など)
保育における表現力を総合的に身につける
3. 注意点・要望
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	音楽表現とは何かを学ぶ	子どもの心を動かす表現とは 幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿から学ぶ
2	表現ダンスの実践	子どもの「やってみたい」を引き出す表現ダンス1
3	表現ダンスの実践	子どもの「やってみたい」を引き出す表現ダンス2
4	歌遊びの実践	手遊びや絵描き歌の楽しさを知り実践に繋がる学びをする
5	歌遊びの実践	手遊びや絵描き歌の楽しさを知り実践に繋がる学びをする
6	視覚からの表現	保育実践に役立つ人形作り
7	視覚からの表現	保育実践に役立つ人形作り
8	視覚からの表現	手作り人形を使って表現活動の実践
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

備考	幼稚園・保育園にて保育経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	-------------------------------------

こども学科	2年
-------	----

【後期】

科目	図画工作／教育・保育演習応用Ⅱ	分類	専門科目
担当	小倉 正巳		
テキスト (出版社)			
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
 児童期までに経験させたい道具の使い方を知り、作品作りの楽しさを自らが体得するために個・共同で作品を作っていく。また作品を作りながら自由な表現の楽しさを感じられるようにしていく。

2. 授業の目標(検定取得など)
 保育現場を想像しながら、発達をふまえた上で作品作りを進め、年齢に合った作品作りを設定できるように学習を進めていく

3. 注意点・要望
 造形表現で学んだ手法や子どもたちへ伝える時の基本的な考え方を中心において、作品作りに向かいましょう。

4. 関連科目
 造形表現(指導法)

週	テーマ	内容
1	年齢による道具の使い方	ハサミ・のり・セロテープ等の工作で使用する道具のおろし方を発達と共に学ぶ
2	季節の図画工作 春	年齢に合わせた様々なこいのぼり作りをする(乳児～個人～ 幼児～共同～)
3	季節の図画工作 春	誕生カード作り(手形とりやお祝いのメッセージなども入れて誕生カードをデザインする)
4	季節の図画工作 夏	色水遊び、フィンガーペインティング、ボディペインティング実践授業
5	季節の図画工作 夏	野菜の絵を絵の具やクレヨンを使って表現する。(筆を使った絵の具の技法を知る。紙の色の選び方を知る)
6	発達にそくした玩具	年齢を各自設定し、その児の発達を促す玩具作りをする
7	季節の図画工作 秋	油粘土、紙粘土を使ってテーマのあるものを作る(人間、動物などを作り、作品に題名をつける)
8	季節の図画工作 秋	様々な廃材を見立てておみせやさんごっここの品物を作ろう
9	季節の図画工作 秋	折り紙作品を作る。(組おりがみ、くみ紙) 折り方bookを作成する
10	季節の図画工作 秋	経験画(運動会、とびばこ、なわとび、ダンスなど)を描き、指導方法を学ぶ
11	季節の図画工作 冬	キャンドル作り:ろうそくより様々な素材を入れて独自の作品を作る 指導方法を学ぶ
12	季節の図画工作 冬	廃材や毛糸など様々な材料を使い立体的な鬼のおめんを作る
13	季節の図画工作 冬	様々な材料を使いこども達が目で追って楽しめる独自のモビールを作る
14	季節の図画工作 冬	様々な技法や素材を使いもらってうれしい心のこもった年賀状作りをする
15	動く玩具作り	動く玩具:その不思議さ、こどもが見つめる表情やワクワク感をもてる作品作り
16	廃材を利用して手作り玩具を作る	廃材から自由な発想を持ち共同作品、または個人作品を作る こどもの自由な発想を引き出すような援助や環境構成声かけについて考える
17	廃材を利用して手作り玩具を作る	廃材から自由な発想を持ち共同作品、または個人作品を作る こどもの自由な発想を引き出すような援助や環境構成声かけについて考える

備考 デザイン事務所における制作、フリーランスイラストレーターとしての活動経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。

こども学科	2年
-------	----

【前期】

科目	音楽演習Ⅰ／教育・保育演習応用Ⅰ	分類	専門科目
担当	中川 菜穂		
テキスト (出版社)	バイエル 音楽ピアノ教本 ポケットいっぱいのおうた		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	20%	0%	40%	20%	0%	20%	100%		

1. 授業の概要
ピアノ読譜と演奏の上達と共に子どもの歌の弾き歌いに重点を置く
2. 授業の目標(検定取得など)
バイエル82番 季節の歌弾き歌い マーチ8
3. 注意点・要望
音彩の会にて指定された課題曲を合格することが進級の条件です
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	ピアノ演奏法 春の歌弾き歌い	教育・保育現場で歌われている歌を学び、弾き歌いの実践
2	ピアノ演奏法 春の歌弾き歌い	教育・保育現場で歌われている歌を学び、弾き歌いの実践
3	ピアノ演奏法 春の歌弾き歌い	4月課題曲のマンスリーチェック
4	ピアノ演奏法 春の歌弾き歌い	教育・保育現場で歌われている歌を学び、弾き歌いの実践
5	ピアノ演奏法 春の歌弾き歌い	教育・保育現場で歌われている歌を学び、弾き歌いの実践
6	ピアノ演奏法 春の歌弾き歌い	教育・保育現場で歌われている歌を学び、弾き歌いの実践
7	ピアノ演奏法 夏の歌弾き歌い	5月課題曲のマンスリーチェック
8	ピアノ演奏法 夏の歌弾き歌い	教育・保育現場で歌われている歌を学び、弾き歌いの実践
9	ピアノ演奏法 夏の歌弾き歌い	6月課題曲のマンスリーチェック
10	ピアノ演奏法 夏の歌弾き歌い	教育・保育現場で歌われている歌を学び、弾き歌いの実践
11	ピアノ演奏法 夏の歌弾き歌い	教育・保育現場で歌われている歌を学び、弾き歌いの実践
12	ピアノ演奏法 夏の歌弾き歌い	教育・保育現場で歌われている歌を学び、弾き歌いの実践
13	ピアノ演奏法 夏の歌弾き歌い	教育・保育現場で歌われている歌を学び、弾き歌いの実践
14	音彩の会組み立て	コンサートに向けて演奏の仕上げる
15	音彩の会	コンサートホールで演奏し音楽のもたらす美しい音色の空間をみんなで共感しあう

備考	幼稚園・保育園にて保育経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	-------------------------------------

こども学科	2年
-------	----

【後期】

科目	音楽演習Ⅱ／教育・保育演習応用Ⅱ	分類	専門科目
担当	中川 菜穂		
テキスト (出版社)	バイエル 音楽ピアノ教本 ポケットいっぱいのおうた		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	20%	0%	40%	20%	0%	20%	100%		

1. 授業の概要
ピアノ読譜と演奏の上達と共に子どもの歌の弾き歌いに重点を置く
2. 授業の目標(検定取得など)
バイエル100番 季節の歌弾き歌い マーチ10
3. 注意点・要望
音彩の会にて指定された課題曲を合格することが進級の条件です
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	ピアノ演奏法 秋の歌弾き歌い	教育・保育現場で歌われている歌を学び、弾き歌いの実践
2	ピアノ演奏法 秋の歌弾き歌い	教育・保育現場で歌われている歌を学び、弾き歌いの実践
3	ピアノ演奏法 秋の歌弾き歌い	9月課題曲のマンスリーチェック
4	ピアノ演奏法 秋の歌弾き歌い	教育・保育現場で歌われている歌を学び、弾き歌いの実践
5	ピアノ演奏法 秋の歌弾き歌い	教育・保育現場で歌われている歌を学び、弾き歌いの実践
6	ピアノ演奏法 秋の歌弾き歌い	教育・保育現場で歌われている歌を学び、弾き歌いの実践
7	ピアノ演奏法 秋の歌弾き歌い	10月課題曲のマンスリーチェック
8	ピアノ演奏法 冬の歌弾き歌い	教育・保育現場で歌われている歌を学び、弾き歌いの実践
9	ピアノ演奏法 冬の歌弾き歌い	教育・保育現場で歌われている歌を学び、弾き歌いの実践
10	ピアノ演奏法 冬の歌弾き歌い	教育・保育現場で歌われている歌を学び、弾き歌いの実践
11	ピアノ演奏法 冬の歌弾き歌い	11月課題曲のマンスリーチェック
12	ピアノ演奏法 冬の歌弾き歌い	教育・保育現場で歌われている歌を学び、弾き歌いの実践
13	ピアノ演奏法 冬の歌弾き歌い	12月課題曲のマンスリーチェック
14	ピアノ演奏法 冬の歌弾き歌い	教育・保育現場で歌われている歌を学び、弾き歌いの実践
15	様々な行事のデザイン	音楽を導入する行事の計画
16	音彩の会組み立て	コンサートに向けて演奏の仕上げる
17	音彩の会	コンサートホールで演奏し音楽のもたらす美しい音色の空間をみんなで共感しあう

備考	幼稚園・保育園にて保育経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	-------------------------------------

こども学科	2年
-------	----

【前期】

科目	幼児体育／教育・保育演習応用Ⅱ	分類	専門科目
担当	向家 真広		
テキスト (出版社)	講義ごとに必要に応じて資料を配布する。		
参考資料	幼児期の運動に関する指導参考資料(文部科学省)、幼児体育 応用編(日本幼少年体育協会)など		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	0%	30%	10%	10%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
身体を動かすこと、運動遊びの重要性を知り、運動指導の方法論を学ぶ。
2. 授業の目標(検定取得など)
対象年齢を考慮したうえで、個々の発育発達に合わせて、運動遊びの環境設定を想定できるようになる。
3. 注意点・要望
自ら学ぶ姿勢を持ち、人の話を聞き、自分の意見を主張していけることを期待しています。毎回運動できるように動ける服装で受講してください。
4. 関連科目
生涯スポーツ／教育・保育演習基礎Ⅰ

週	テーマ	内容
1	こどもと運動	こどもと運動についての意義・発達との関連性(こどもの現状と社会的背景)
2	乳児期～幼児期の発育発達と運動	乳児期～幼児期の発育発達の原理とそれに伴う運動遊びを知る。
3	コーディネーション運動	コーディネーション運動の基礎知識を学び、遊びの幅を広げる。
4	身体を使った運動遊び	身体を使った運動遊びを経験し、習得する。
5	マット、鉄棒、跳び箱を使った運動遊び	マット、鉄棒、跳び箱を使った運動遊びを行い、習得する。
6	ボールを使った運動遊び	ボールを使った運動遊びを経験し、習得する。
7	身近なものを使った運動遊び	新聞紙や段ボール、風船、縄など身近なものを使った運動遊びを経験し、習得する。
8	様々な運動遊び 指導演習	今まで習得した運動遊びを組み合わせて実際に指導実践をする。
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

備考	現在、本校姉妹園にて幼児体育を指導している教員が、その経験を活かして講義・指導を行う。
----	---

こども学科	2年
-------	----

【前期】

科目	劇あそび(指導法)／教育・保育演習応用Ⅱ	分類	専門科目
担当	中川 菜穂		
テキスト (出版社)			
参考資料	てぶくろ人形の部屋		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	0%	20%	50%	0%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要
歌・劇・造形などを通じた保育者としての総合的表現を養う
2. 授業の目標(検定取得など)
表現力を総合的に身につけること またその表現を子どもたちの前で発表、し反応を見ることで振り返りを行うこと
3. 注意点・要望
一人一人が役割を持ち、仲間と共に一つの作品を作り上げる
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	様々な表現方法を学ぶ	様々な表現方法を学んだ上でペープサートの特性と表現の仕方方の理解
2	ペープサート組み立て	絵本から題材を選びイメージの共有 台本作り
3	ペープサート製作	一人一人が役割を持ちグループで一つの作品を作る
4	ペープサート製作	一人一人が役割を持ちグループで一つの作品を作る
5	音楽を取り入れた視覚的表現	音楽と視覚の連動の面白さ楽しさを知ると共に作品を完成させる
6	ペープサート演習	表現法を学びそれぞれが役になりきる
7	行事の組み立て	リハーサル 意見交換
8	ペープサート発表会	子どもたちを招き心を込めて演じる 反応を見て振り返りをする
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

備考	幼稚園・保育園にて保育経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	-------------------------------------

こども学科	2年
-------	----

【後期】

科目	保育実習事前事後指導／教育・保育演習応用Ⅰ	分類	専門科目
担当	津田 聡子		
テキスト (出版社)	保育所保育指針		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
保育実習Ⅰのための準備と、実習内容の質の向上のための学習
2. 授業の目標(検定取得など)
実習ノート作成 学外施設にて見学・観察時実習を行う 実習評価票
3. 注意点・要望
実習だからこそ学べることへの目標をしっかり持ち望む
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	実習の目的と意義	実習の概要 自己評価にて自身を知ると共に実習生としての意識と責任を持つ
2	事前学習	子どもの人権 プライバシーについて 書類の種類を学ぶ
3	実習の流れ	保育所実習において決定から実習終了までを知る
4	マナー研修	服装、挨拶、言葉づかい、実習生の生活など、自身を取り巻く様々な心得を学ぶ
5	保育実習内容	保育所とは何かを学ぶ (保育所入所について、日課、職種等)
6	実習日誌について	目標、環境設定、記録、考察等の書き方 美しい字 筆圧、描写、表現の仕方等
7	オリエンテーションについて	オリエンテーションについて知る 見学・観察・部分・責任実習を知る
8	実習日誌を書く	子ども、保育者の様子を見ながら実習ノートを書くポイントの演習
9	立案演習	個々で様々な年齢の保育内容立案をする
10	学外実習演習	1階保育室にて保育演習後実習日誌を書く 実習、日誌指導をしていただく
11	学外実習演習	1階保育室にて保育演習後実習日誌を書く 実習、日誌指導をしていただく
12	学外実習演習	1階保育室にて保育演習後実習日誌を書く 実習、日誌指導をしていただく
13	実習先について 保育所	自身の実習先を熟知する
14	実習先について 施設	自身の実習先を熟知する
15	お礼状	書式を学ぶ 自分の言葉で心あるお礼状を個々で作る
16	実習反省、報告会	実習総括と自己評価を行う
17	次回実習へ向けて	反省をふまえ、次回実習に向けて自分自身に課題を出す

備考	公立保育士として勤務経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	------------------------------------

こども学科	2年
-------	----

【前期】

科目	保育原理	分類	専門科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)	保育原理(近畿大学九州短期大学)		
参考資料	保育所保育指針		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

保育の理念と概念を理解し、子どもの最善の利益とは何かを考える。その上で家庭福祉の視点も加味しながら保育の理想像を探求し、保育者としての社会的役割と責任を考える。

2. 授業の目標(検定取得など)

保育に関する法令及び制度の体系をつかみながら、保育所保育指針における保育の基本を学ぶ。

3. 注意点・要望

保育の思想と歴史の変遷を踏まえ、保育の現状と課題を把握し、保育者としての知見を高めるよう努めてほしい

4. 関連科目

保育士免許関連科目

週	テーマ	内容
1	保育の意義及び目的	保育の理念と概念 子どもの最善の利益と保育
2	保育の意義及び目的	子ども家庭福祉と保育 保育の社会的役割と責任
3	保育に関する法令及び制度	子ども家庭福祉の法体系における保育の位置付けと関係法令 子ども・子育て支援新制度
4	保育に関する法令及び制度	保育の実施体系
5	保育所保育指針における保育の基本	保育所保育指針
6	保育所保育指針における保育の基本	保育所保育に関する基本原則
7	保育所保育指針における保育の基本	保育における養護
8	保育所保育指針における保育の基本	保育の目標
9	保育所保育指針における保育の基本	保育の内容
10	保育所保育指針における保育の基本	保育の環境・方法
11	保育所保育指針における保育の基本	子どもの理解に基づく保育の過程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)とその循環
12	保育の思想と歴史の変遷	諸外国の保育の思想と歴史
13	保育の思想と歴史の変遷	日本の保育の思想と歴史
14	保育の現状と課題	諸外国の保育の現状
15	保育の現状と課題	日本の保育の現状と課題

備考	講義助手として、園長経験や保育経験のある教員が、各テーマに沿って経験則からの解説を行うことがある。
----	---

こども学科	2年
-------	----

【後期】

科目	発達心理学	分類	専門科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)	発達心理学(近畿大学九州短期大学)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

保育実践に関わる発達理論等の心理的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解する。

2. 授業の目標(検定取得など)

子どもの発達過程(社会情動的発達・身体的機能・運動機能の発達・認知の発達・言語の発達)を習得する。乳幼児期の学びに関わる理論からその過程と特性をつかみ、子どもの学びを支える保育を具体的に実践できる基礎を養う。

3. 注意点・要望

子どもの発達過程を知ることで、発達を捉える視点を養うことができる。具体的な事例をもとにレベルアップを図ってほしい。

4. 関連科目

保育士免許関連科目

週	テーマ	内容
1	発達心理学の課題	発達心理学とは何か 発達研究のテーマ
2	発達を捉える視点	子どもの発達を理解することの意義
3	発達を捉える視点	子どもの発達と環境
4	発達を捉える視点	発達理論と子ども観・保育観
5	知的発達	感覚運動期から形式的操作期
6	知的発達	発達の階層的構造化
7	知的発達	記号と表象
8	環境と発達	発達研究の動向と先駆的研究 初期経験の影響
9	環境と発達	知能と環境
10	感情の発達	知・情・意の動き 内発的動機づけ 感情の種類 情動の種類と発達
11	子どもの発達過程	社会情動的発達
12	子どもの発達過程	身体的機能と運動機能の発達
13	子どもの発達過程	認知の発達
14	子どもの発達過程	言語の発達
15	子どもの学びと保育	乳幼児期の学びに関わる理論
16	子どもの学びと保育	乳幼児期の学びの過程と特性
17	子どもの学びと保育	乳幼児期の学びを支える保育

備考	日本教育心理学会所属の教員が、その経験や諸論文をもとに指導を行う。
----	-----------------------------------

こども学科	2年
-------	----

【前期】

科目	乳児保育	分類	専門科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	はじめて学ぶ乳児保育		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	0%	50%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割を踏まえ、保育所・乳児院等多様な保育の場における現状と課題について理解する。

2. 授業の目標(検定取得など)
3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解し、適切な環境設定や援助の方法、具体的な配慮を実現できる基本的な力を養う。乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。

3. 注意点・要望
元保育士の先生方への積極的な質問を望む

4. 関連科目
保育士免許関連科目

週	テーマ	内容
1	乳児保育の意義・目的と役割	乳児保育の意義・目的と歴史の変遷、役割と機能、養護及び教育
2	乳児保育の現状と課題	乳児保育及び子育てで家庭に対する支援をめぐる社会的状況と課題
3	乳児保育の現状と課題	保育所における乳児保育
4	乳児保育の現状と課題	保育所以外の児童福祉施設(乳児院等)における乳児保育
5	乳児保育の現状と課題	家庭的保育等における乳児保育
6	乳児保育の現状と課題	3歳未満児とその家庭を取り巻く環境と子育て支援の場
7	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育	3歳未満児の生活と環境
8	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育	3歳未満児の遊びと環境
9	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育	3歳以上児の保育に移行する時期の保育
10	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育士等による援助や関わり
11	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育における配慮
12	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育	乳児保育における計画・記録・評価とその意義
13	乳児保育における連携・協働	職員間の連携・協働
14	乳児保育における連携・協働	保護者との連携・協働
15	乳児保育における連携・協働	自治体や地域の関係機関等との連携・協働

備考 講義助手として、園長経験や保育経験のある教員が、各テーマに沿って経験則からの解説を行うことがある。

こども学科	2年
-------	----

【後期】

科目	障害児保育	分類	専門科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)	よくわかる障害児保育(ミネルヴァ書房)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	0%	50%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

障害児保育を支える理念や歴史的変遷を学び、障害児及びその保育について理解し、個々の特性や心身の発達等に応じた援助や配慮が実現できる力を養う。

2. 授業の目標(検定取得など)

障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について理解し、その現状と課題を踏まえながら保育方法を考える。またその家庭への支援や、関係機関との連携・協働について理解する。

3. 注意点・要望

保育者として理想的な障害児保育とは何か、自身の見解を確立する

4. 関連科目

保育士免許関連科目

週	テーマ	内容
1	障害児保育を支える理念	「障害」の概念と障害児保育の歴史的変遷 障害のある子どもの地域社会への参加・包容(インクルージョン)及び合理的配慮の理解と障害児保育の基本
2	障害児等の理解と保育における発達の援助	肢体不自由児の理解と援助
3	障害児等の理解と保育における発達の援助	知的障害児の理解と援助
4	障害児等の理解と保育における発達の援助	視覚障害・聴覚障害・言語障害児等の理解と援助
5	障害児等の理解と保育における発達の援助	発達障害児の理解と援助①(ADHD-注意欠陥多動性障害、LD-学習障害等)
6	障害児等の理解と保育における発達の援助	発達障害児の理解と援助②(PDD-広汎性発達障害等)
7	障害児等の理解と保育における発達の援助	重症心身障害児、医療的ケア児の理解と援助 その他の特別な配慮を要する子どもの理解と援助
8	障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育の実際	指導計画及び個別の支援計画の作成
9	障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育の実際	個々の発達を促す生活や遊びの環境
10	障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育の実際	子ども同士の関わりと育ち合い
11	障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育の実際	障害児保育における子どもの健康と安全
12	障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育の実際	職員間の連携・協働
13	家庭及び自治体・関係機関との連携	保護者や家族に対する理解と支援
14	家庭及び自治体・関係機関との連携	保護者間の交流や支え合いの意義とその支援
15	家庭及び自治体・関係機関との連携)障害児支援の制度の理解と地域における自治体や関係機関(保育所、児童発達支援センター等)の連携・協働 小学校等との連携
16	障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育に関わる現状と課題	保健・医療における現状と課題 福祉・教育における現状と課題
17	障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育に関わる現状と課題	支援の場の広がりにつながり

備考	講義助手として、園長経験や保育経験のある教員が、各テーマに沿って経験則からの解説を行うことがある。
----	---

こども学科	2年
-------	----

【前期】

科目	家庭支援論	分類	専門科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)	よくわかる家庭支援論(ミネルヴァ書房)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

今までの地域社会や親族、家族が果たしてきた機能や役割を考え、子どもを取り巻く社会環境を点検し、これからの家族のあり方や役割を考える

2. 授業の目標(検定取得など)

保育所が求められている「地域子育てセンター」の役割を理解し、その援助と方法を実践できる力を養う

3. 注意点・要望

保育者として理想的な家庭支援とは何か、自身の見解を確立する

4. 関連科目

保育士免許関連科目

週	テーマ	内容
1	家族の意義と機能	家族の定義 家族の形態 様々な機能
2	家庭支援の必要性	家庭の現状 制度体系
3	保育者が行う家庭支援の原理Ⅰ	倫理観 専門的知識と技術 判断
4	保育者が行う家庭支援の原理Ⅱ	子どもの最善の利益とは 保護者との距離感
5	保育者が行う家庭支援の原理Ⅲ	具体的な家庭支援の展開
6	現代の家庭における人間関係	ライフサイクルの変化 家族内の関係と結びつき
7	地域社会の変容と家庭支援	地域のつながりと家庭の近隣関係
8	男女共同参画社会の推進	ワークバランスの現状と課題 子育てにやさしい社会の実現
9	子育て家庭の福祉を図る為の社会資源	社会資源とは 子育て家庭を支援する制度
10	子育て支援施策Ⅰ	エンゼルプランから子ども子育て応援プラン
11	子育て支援施策Ⅱ	新待機児童ゼロ作戦から子ども・子育て関連3法
12	子育て支援サービスの概要	子育て支援サービスの役割
13	保育所入所児童の家庭への支援	保育所に求められる子育て支援 身近な保育所であるために
14	地域の子育て家庭への支援	その必要性と取り組み 父親への支援
15	要保護児童及びその家庭に対する支援	障害のある子どもとその家庭への支援 障害児施策の概要

備考	
----	--

こども学科	2年
-------	----

【後期】

科目	教育相談	分類	専門科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)	子育て支援カウンセリング(近畿大学九州短期大学)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	0%	50%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
子どもの心の成長やつまずき、保護者への支援に関しての理解を臨床心理学的視点から深める
2. 授業の目標(検定取得など)
保育者として子どもや家庭への支援の基礎を学ぶ
3. 注意点・要望
1階の先生方が実際にどのような言葉を使っているかジョブシャドウイングしてほしい
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	カウンセリングスキルⅠ	ロジャーズの3条件
2	カウンセリングスキルⅡ	枠組み、守秘義務、傾聴
3	発達障害を抱えた子どもの保護者Ⅰ	LD、ADHD、自閉症スペクトラムの症状
4	発達障害を抱えた子どもの保護者Ⅱ	発達障害の要因と療育的関わり
5	発達障害を抱えた子どもの保護者Ⅲ	育児の負担、サポートする社会資源
6	主要な心理療法	来談者中心療法、精神分析、行動療法、認知行動療法
7	教育相談における工夫	相談の場を設ける、本音を引き出す工夫
8	養育困難のリスク要因	保護者・子ども・養育環境それぞれのリスク要因
9	虐待が疑われる家庭への支援	発見から通告、支援時における保育者としての姿勢
10	自閉症の子どもへの支援	自閉症の特徴と視覚支援を活用した日常の支援
11	ADHDの子どもへの支援	自尊心の低下がまねく二次障害、様々な支援方法
12	障害のある子どもの保護者への支援	保護者と保育者とのズレ、医療機関へのリファー
13	保護者世代に見られる精神疾患	統合失調症、気分障害、パーソナリティ障害の特徴と医療機関との連携
14	構成的エンカウンターグループ	子育て支援への活かし方
15	閉じた質問と開かれた質問	具体的事例と長所・短所
16	事例研究Ⅰ	子育て相談事例
17	事例研究Ⅱ	子育て相談事例

備考	講義助手として、園長経験や保育経験のある教員が、各テーマに沿って経験則からの解説を行うことがある。
----	---

こども学科	2年
-------	----

【前期】

科目	乳幼児心理学	分類	専門科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)	乳幼児心理学(近畿大学九州短期大学)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

子どもたちがどのようにこの世界を理解しようとしているのか、またその理解の仕方の変化や発達について学ぶ

2. 授業の目標(検定取得など)

乳幼児の発達の基礎的な知識を理解し、保育者として適切な子どもへの関わり方を習得する

3. 注意点・要望

レポート、科目終末試験の更なるレベルアップ

4. 関連科目

保育士免許関連科目

週	テーマ	内容
1	歴史的背景	子どもの見方の歴史的変化
2	遺伝と環境	遺伝とは 環境とは 研究と成果
3	ライフサイクル	人間の一生・ライフサイクルを考える
4	発達理論Ⅰ	エリクソン フロイト ピアジェ
5	発達理論Ⅱ	行動理論 社会的学習理論 ヴィゴツキー
6	愛着理論Ⅰ	インプリンティング・臨界期
7	愛着理論Ⅱ	愛着・アタッチメント
8	愛着理論Ⅲ	母性剥奪の概念
9	知覚の発達	子どもの知覚 知覚の特性
10	認知の発達Ⅰ	子どもの認知 感覚運動期 ものの永続性
11	認知の発達Ⅱ	前操作期 自己中心性
12	記憶の発達	記憶過程 記憶の変容 子どもの記憶
13	情緒の発達Ⅰ	子どもの情緒 微笑みの発達
14	情緒の発達Ⅱ	意欲 外発的動機づけ 内発的動機づけ
15	ことばの発達	発声 ことばのやりとり ノン・バーバル・コミュニケーション

備考	日本教育心理学会所属の教員が、その経験や諸論文をもとに指導を行う。
----	-----------------------------------

こども学科	2年
-------	----

【後期】

科目	児童家庭福祉	分類	専門科目
担当	水鳥川洋子		
テキスト (出版社)	なし。プリントを配布する。		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	30%	0%	0%	0%	20%	100%		

1. 授業の概要
子どもと家庭を取り巻く現代の社会状況を理解した上で、各種別ごとの児童福祉施設の特徴と現状を理解し、子どもの権利擁護について学ぶ
2. 授業の目標(検定取得など)
現代社会における子どもと家庭の現状(特に虐待問題)を知り、児童家庭福祉の体系を理解するとともに、保育所、学校、施設の新たな役割を認識する
3. 注意点・要望
日頃から児童虐待等子どもをめぐるニュースに関心を持ち、新聞記事も丁寧に読み、自分なりの考え深めて欲しい
4. 関連科目
社会的養護

週	テーマ	内容
1	オリエンテーション 自分のストレンクスを知る	①全ての家庭と子どもを対象とした児童家庭福祉の対象と体系を学ぶ ②グループワークを通して自分のストレンクスを知る
2	現代の子育てと児童虐待の現状	現代社会における子育て状況の課題と児童虐待の現状を知る
3	児童虐待の防止と要保護児童対策地域協議会の意義と役割	地域における児童虐待の防止と要保護児童対策地域協議会の意義と役割を理解する
4	児童相談所の役割	児童相談所の役割を理解するとともに、施設措置の体系を理解する
5	養育環境に問題がある児童の施設養護(1)	乳児院の現状と課題を理解する
6	養育環境に問題がある児童の施設養護(2)	児童養護施設 母子生活支援施設の現状と課題を理解する
7	情緒・行動面に問題がある児童の施設養護(1)	児童自立支援施設の現状と課題を理解する
8	情緒・行動面に問題がある児童の施設養護(2)	児童心理治療施設の現状と課題を理解する
9	障害のある児童の施設養護(1)	福祉型障害児入所施設の現状と課題を理解する
10	障害のある児童の施設養護(2)	医療型障害児入所施設の現状と課題を理解する
11	家庭的養護	里親、ファミリーホーム、自立援助ホームの現状と課題を理解する
12	家庭養育を支援する施設	児童発達支援センター、児童家庭支援センターの現状と課題を理解する
13	事例検討	実習で出会った気になる子どもについてグループで事例検討をする
14	事例検討	実習で出会った気になる子どもについてグループで事例検討をする
15	被措置児等虐待の防止と子どもの権利擁護	児童福祉施設入所児への職員による虐待の防止と子どもの権利擁護の大切さを学ぶ
16		
17		

備考	児童相談所等児童福祉関係での現場体験30年の教員が、その経験を生かして、児童福祉施設のリアルな現状と課題の実際を講義する
----	--

こども学科	2年
-------	----

【前期】

科目	子どもの食と栄養	分類	専門科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)	子どもの食と栄養(北大路書房)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

小児の発達・発達の特徴、栄養に関する基本的な知識を踏まえ、小児期における心身の発達段階に応じた栄養法、食生活、集団給食、食育の重要性を理解する

2. 授業の目標(検定取得など)

子どもの食と栄養に関して、保育者としてより良いあり方を探究できる

3. 注意点・要望

元保育士の先生方への質問レベルの更なる向上

4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	子どもの健康と食生活の意義	心身の健康と食生活の関係、食生活の現状と課題
2	栄養に関する基本的知識 I	栄養の基本的概念と栄養素の種類と機能
3	栄養に関する基本的知識 II	食事摂取基準の意義とその活用
4	子どもの発育・発達と食生活	食生活と子どもの健康
5	妊婦・授乳婦の栄養ケア・マネジメント I	妊婦期の栄養・食生活・おもなトラブル
6	妊婦・授乳婦の栄養ケア・マネジメント II	授乳期の栄養・食生活・おもなトラブル
7	乳児期の授乳・離乳の意義と食生活	乳汁栄養、離乳の意義とその実践、栄養上の問題と健康への対応
8	幼児期の心身の発達と食生活 I	幼児期の心身の特徴と食生活、その実践
9	幼児期の心身の発達と食生活 II	間食の意義、栄養上の問題と健康への対応、食育
10	学齢期・思春期の心身の発達と食生活	具体的な食生活、学校給食の重要性と学校での食育
11	特別な配慮を要する子どもの食と栄養	疾患と食生活、疾病及び体調不良の対応、食事療法への対応
12	障害がある子どもの食生活	摂食・嚥下機能の発達及び障害特徴と食生活
13	児童福祉施設における食生活と栄養	集団生活における献立作成と調理の基本、食事計画基本方針
14	食育の基本と内容・方法 I	食育の基本的考え方
15	食育の基本と内容・方法 II	食育の方法(実践例)

備考	
----	--

こども学科	2年
-------	----

【後期】

科目	子どもの保健	分類	専門科目
担当	渡邊 寿代		
テキスト (出版社)	よくわかる子どもの保健(ミネルヴァ書房)		
参考資料	授業時、必要に応じて資料を配布。		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
子どもの身体発育や生理機能及び運動機能並びに精神機能の発達と保健の理解
2. 授業の目標(検定取得など)
子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。
3. 注意点・要望
子育てを身近なものとして、社会全体で考えられるようにして欲しい。
4. 関連科目
子どもの保健

週	テーマ	内容
1	身体発育、生理機能、運動機能、精神機能の発達と保健①	発育の原則
2	身体発育、生理機能、運動機能、精神機能の発達と保健②	運動発達
3	身体発育、生理機能、運動機能、精神機能の発達と保健③	精神保健
4	子どもの疾病と保育①	主な感染症とその対応 I
5	子どもの疾病と保育②	主な感染症とその対応 II
6	子どもの疾病と保育③	主な事故や傷害時とその対応 I
7	子どもの疾病と保育④	主な事故や傷害時とその対応 II
8	感染症の予防と対策①	主な感染症疾患について
9	感染症の予防と対策②	予防接種、感染予防について
10	環境及び安全衛生管理①	保育環境整備と保健
11	環境及び安全衛生管理②	保育現場における事故防止及び安全対策
12	生活リズムについて①	脳と心のメカニズム、睡眠
13	生活リズムについて②	早寝早起き・朝ごはんの重要性
14	アレルギー疾患について①	アレルギー総論
15	アレルギー疾患について②	食物アレルギー、エピペンについて
16	アレルギー疾患について③	喘息、アトピー性皮膚炎
17		

備考	現在保育園の看護師として勤務しており、現場での実情も含めた実務的なことを中心に伝えたい。
----	--

こども学科	2年
-------	----

【前期】

科目	公務員試験対策演習応用 I	分類	専門科目
担当	生越 雅志		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	なし		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	0%	50%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
公務員試験対策を行う 2年次前期は主に一般知識の強化を行う
2. 授業の目標(検定取得など)
社会科学・人文科学・自然科学の問題に慣れ、理解を深める
3. 注意点・要望
一般人レベルの常識を身に付ける最後のチャンスなので頑張ってください。みなさんの進捗により、内容の変更があります。
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	公務員試験対策演習1	社会科学 政治・経済・社会 基本問題
2	公務員試験対策演習2	社会科学 政治・経済・社会 基本問題
3	公務員試験対策演習3	社会科学 政治・経済・社会 練習問題
4	公務員試験対策演習4	社会科学 政治・経済・社会 予想問題
5	公務員試験対策演習5	人文科学 思想・日本史・世界史・地理・国語・文学・芸術 基本問題
6	公務員試験対策演習6	人文科学 思想・日本史・世界史・地理・国語・文学・芸術 基本問題
7	公務員試験対策演習7	人文科学 思想・日本史・世界史・地理・国語・文学・芸術 練習問題
8	公務員試験対策演習8	人文科学 思想・日本史・世界史・地理・国語・文学・芸術 予想問題
9	公務員試験対策演習9	自然科学 数学・物理・化学・生物・地学 基本問題
10	公務員試験対策演習10	自然科学 数学・物理・化学・生物・地学 基本問題
11	公務員試験対策演習11	自然科学 数学・物理・化学・生物・地学 練習問題
12	公務員試験対策演習12	自然科学 数学・物理・化学・生物・地学 練習問題
13	公務員試験対策演習13	自然科学 数学・物理・化学・生物・地学 予想問題
14	公務員試験対策演習14	自然科学 数学・物理・化学・生物・地学 予想問題
15	公務員試験対策演習15	自然科学 数学・物理・化学・生物・地学 予想問題

備考	
----	--

こども学科	2年
-------	----

【後期】

科目	公務員試験対策演習応用Ⅱ	分類	専門科目
担当	生越 雅志		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	なし		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	0%	50%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
公務員試験の対策を行う 2年次後期は主に専門知識の強化を行う
2. 授業の目標(検定取得など)
専門試験の問題に慣れ、理解を深める
3. 注意点・要望
保育士としての教養を身に付ける授業ですので頑張ってください。みなさんの進捗により、内容が変わることがあります。
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	公務員対策演習1	保育原理 重要事項・予想問題
2	公務員対策演習2	教育原理 重要事項・予想問題
3	公務員対策演習3	社会的養護 重要事項・予想問題
4	公務員対策演習4	児童家庭福祉 重要事項・予想問題
5	公務員対策演習5	社会福祉 重要事項・予想問題
6	公務員対策演習6	保育の心理学 重要事項・予想問題
7	公務員対策演習7	子どもの保健 重要事項・予想問題
8	公務員対策演習8	子どもの食と栄養 重要事項・予想問題
9	公務員対策演習9	家庭支援論 重要事項・予想問題
10	公務員対策演習10	保育内容 重要事項・予想問題
11	公務員対策演習11	乳児保育 重要事項・予想問題
12	公務員対策演習12	障害児保育 重要事項・予想問題
13	公務員対策演習13	保育実習 重要事項・予想問題
14	公務員対策演習14	模擬試験
15	公務員対策演習15	模擬試験
16	公務員対策演習16	模擬試験
17	公務員対策演習17	模擬試験

備考	
----	--

こども学科	2年
-------	----

【前期】

科目	Office演習 I	分類	教養科目
担当	生越 雅志		
テキスト (出版社)	よくわかるマスターMOS Excel2016(FOM出版)		
参考資料	なし		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	30%	0%	20%	50%	100%		

1. 授業の概要
Microsoft Office Specialist Excel2016の受験を通し、Excelの基本的な操作方法を習得する
2. 授業の目標(検定取得など)
Microsoft Office Specialist Excel2016の検定の取得
3. 注意点・要望
自ら進んでCDの課題をすすめていくこと
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	ワークシートやブックの作成と管理	ワークシートやブックを作成する・シート内の移動や書式設定 シートのオプションと表示のカスタマイズ・シートの印刷
2	セルやセル範囲の作成	セルやセル範囲にデータを挿入する・セルの書式設定 セルの並べ替えとグループ化
3	テーブルの作成	テーブルを作成、変更する レコードの抽出と並べ替え
4	数式や関数の応用	数式を使用する
5		関数を使用する SUM関数 AVERAGE関数 MIN関数 MAX関数 COUNT関数 COUNTBLANK関数
6		関数で条件付き論理を使用する SUMIF関数 AVERAGEIF関数 COUNTIF関数
7		文字列操作関数を使用する UPPER関数 LOWER関数 LEFT関数 RIGHT関数 MID関数
8		文字列操作関数を使用する TRIM関数 CONCATENATE関数
9	グラフやオブジェクトの作成	グラフを作成する
10		オブジェクトを作成する
11	模擬問題 CD演習	模擬問題CD演習
12		
13		
14		
15		

備考	社会人経験のある教員がMOSを通してパソコンの使い方を講義します。
----	-----------------------------------

こども学科	2年
-------	----

【後期】

科目	Office演習Ⅱ	分類	教養科目
担当	生越 雅志		
テキスト (出版社)	よくわかるマスターMOS Word2016 (FOM出版)		
参考資料	なし		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	30%	0%	20%	50%	100%		

1. 授業の概要
Microsoft Office Specialist Word2016の受験を通し、Wordの基本的な操作方法を習得する
2. 授業の目標(検定取得など)
Microsoft Office Specialist Word2016の検定の取得
3. 注意点・要望
自ら進んでCDの課題をすすめていくこと
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	文書の作成と管理	文書を作成する・文書内を移動する・文書を書式設定する
2		文書のオプションと表示をカスタマイズする 印刷または保存するために文書を設定する
3	文字、段落、セクションの書式設定	文字列や段落を挿入する 文字列や段落を書式設定する
4		文字列や段落を並べ替える、グループ化する
5	表やリストの作成	表を作成する 表を変更する
6		リストを作成する、変更する
7	参考資料の適用	文末脚注、脚注、引用文献を作成する
8		図表番号を作成する
9	オブジェクトの挿入と書式設定	文書パーツを挿入する、書式設定する 画像を挿入する、書式設定する
10		図形やSmartArtを挿入する、書式設定する
11	模擬問題 CD演習	模擬問題CD演習
12		
13		
14		
15		
16		
17		

備考	社会人経験のある教員がMOSを通してパソコンの使い方を講義します。
----	-----------------------------------

こども学科	2年
-------	----

【前期】

科目	検定対策	分類	教養科目
担当	生越 雅志		
テキスト (出版社)	よくわかるマスターMOS Excel2016(FOM出版)		
参考資料	なし		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	30%	0%	20%	50%	100%		

1. 授業の概要
Microsoft Office Specialist Excel2016の受験を通し、Excelの基本的な操作方法を習得する
2. 授業の目標(検定取得など)
Microsoft Office Specialist Excel2016の検定の取得
3. 注意点・要望
内容はOffice演習 I に準ずる
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	検定対策	検定対策(Office I に準ずる)
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

備考	社会人経験のある教員がMOSを通してパソコンの使い方を講義します。
----	-----------------------------------

こども学科	2年
-------	----

【後期】

科目	就職講座A	分類	教養科目
担当	江川 加津雄		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	プリント		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	100%	0%	0%	0%	100%		

1. 授業の概要
就職活動を控えて、その概要を理解し、自己分析や幼稚園・保育所・施設研究ができる力を身につける。 また、履歴書が書ける力、作文や一般常識などの筆記試験及び面接試験に合格できる力をつける。
2. 授業の目標(検定取得など)
人生設計や将来の目標について考え、その経済的基盤である就職への意識を持たせる。 就職活動を通じて成長できる人間力を養い、講座終了後に、自分で就職活動できる力をつける。
3. 注意点・要望
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	就職活動の流れ	講座概要、就職活動スケジュール、自分を生かす就職
2	自己分析1	過去の自分を見つめ、自分の関心ごとや感動したことなどを分析する
3	自己分析2	現在の自分を見つめ、他人の意見も聞き、自分の強みと弱みを分析する
4	自己分析3	現在の自分を見つめ、自分の関心ごとや大人度を分析する
5	自己分析4	将来の自分を思い、なりたい自分の姿をイメージする
6	履歴書の書き方1	履歴書の書き方のポイント
7	履歴書の書き方2	履歴書を書いてみる
8	求人票の見方	求人申込書、青少年雇用情報シート、自己申告書の見方とチェックポイント
9	電話のかけ方、メールの書き方	電話をかける時のマナー、電子メールのマナー
10	作文・小論文の書き方	作文・小論文の書き方、原稿用紙の書き方
11	面接試験1	面接の成功例と失敗例
12	面接試験2	集団面接、個人面接、グループディスカッション
13	面接試験3	面接のシーン別ポイント
14	面接試験4	グループディスカッション演習
15	内定から入職まで	労働契約、内定通知書と内定承諾書、新人研修など
16	書類送付のポイント	送り状の書き方、封筒の書き方演習
17	働く上で知っておくべきこと	労働基準法、労働契約法、男女雇用機会均等法、など

備考	16年の社会人経験と31年の就職指導経験のある職員(職業紹介責任者講習受講済)が、その経験に基づいて、就職活動全般及び個別の事例について、講義と指導を行う。
----	--

こども学科	2年
-------	----

【前期】

科目	やってみなはれ演習応用 I	分類	教養科目
担当	生越 雅志		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	なし		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	20%	30%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
机上では学べないものを、自らの体験を通して学ぶ
2. 授業の目標(検定取得など)
保育現場で活かせるスキルの習得をめざし、記録に残す。
3. 注意点・要望
体験したものは、100シートにまとめ提出のこと。評価の対象となります。天候などにより一部内容が変わる場合があります。
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	歓迎会企画(ゲームなど)	100シートと評価について ファイルを配る
2	歓迎会	企画・ゲーム・お茶など
3	端午の節句	兜出し、折り紙、組コマ
4	ごみひろい	船橋市内の清掃活動をおこなう
5	実習準備	指導案・ピアノ・制作物
6	実習準備	指導案・ピアノ・制作物
7	救命	心肺蘇生とAEDの使い方を学ぶ
8	実習準備	指導案・ピアノ・制作物
9	実習準備	指導案・ピアノ・制作物
10	実習準備	指導案・ピアノ・制作物
11	研修合宿準備	バスレクを考える
12	研修合宿	海での研修
13	夏見台音楽発表会練習	
14	若幸祭準備	若幸祭の企画を考える
15	若幸祭準備	若幸祭の企画を考える

備考	幼稚園・保育園の職員経験者の職員と共に、常に現場を意識した授業となります。
----	---------------------------------------

こども学科	2年
-------	----

【後期】

科目	やってみなはれ演習応用Ⅱ	分類	専門科目
担当	生越 雅志		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	なし		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		

1. 授業の概要
机上では学べないものを、自らの体験を通して学ぶ
2. 授業の目標(検定取得など)
保育現場で活かせるスキルの習得をめざし、記録に残す。
3. 注意点・要望
体験したものは、100シートにまとめ提出のこと。評価の対象となります。天候などにより一部内容が変わる場合があります。
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	若幸祭準備	若幸祭の企画を考える
2	若幸祭準備	若幸祭の企画を考える
3	若幸祭準備	若幸祭の企画を考える
4	若幸祭準備	若幸祭の企画を考える
5	若幸祭準備	若幸祭の企画を考える
6	若幸祭準備	若幸祭の企画を考える
7	若幸祭	
8	若幸祭反省	
9	保育実習準備	指導案・ピアノ・制作物
10	保育実習準備	指導案・ピアノ・制作物
11	3年生を送る会、卒園式の準備	係やチーム分け
12	3年生を送る会、卒園式の準備	
13	施設実習準備	指導案・ピアノ・制作物
14	施設実習準備	指導案・ピアノ・制作物
15	3年生を送る会、卒園式の準備	
16	3年生を送る会、卒園式の準備	
17	3年生を送る会、卒園式の準備	

備考	幼稚園・保育園の職員経験者の職員と共に、常に現場を意識した授業となります。
----	---------------------------------------

